

記 事

◎常議員会(昭.27.3.29)出席者: 大西会長, 稲浦, 立花両副会長, 那波, 久保田, 大河戸, 谷口, 三浦の前各会長, 清水, 立花, 当銀, 藤野, 宮崎, 大谷(代)立神の各常議員, 委任状 27 通, 計 37 名で常議員会成立, 外に富樫, 西松, 高畑, 樺島の各理事

協議事項: (1) 27 年度事業計画及び予算案を原案通り承認 (2) 規則第 6 条の中「一時に 30 000 円以上」を「一時に 50 000 円以上」に改め, 同第 12 条中会費を次のように改めることを承認

- | | | | |
|--------|---------------|---|-----------|
| 1. 正員 | 年額 600円 | を | 800円に |
| 2. 特別員 | 1級年額 6 000円以上 | を | 8 000円以上に |
| | 同 2級年額 4 000円 | を | 5 000円に |
| | 同 3級年額 2 000円 | を | 3 000円に |
| 3. 准員 | 年額 500円 | を | 600円に |
| 4. 学生員 | 年額 400円 | を | 500円に |

(3) 基金管理方法を報告しこれを承認, (4) 久保田前会長から海外学協会との連絡を密にするよう御注意があり特に昨年 ASCE 会長 Hathaway 氏が来日の際 1952 年の百年祭に沢山アメリカに招請することを希望されたので土木学会としても考慮すべきだとの発言があつた, これに対して会長から経過説明目下入選中の旨回答, (5) 大河戸前会長から用語統一に関連して公式に用うる符号を統一されたいと希望があり, (6) 立神中部支部長から予算に関連して中部支部のように毎月行事を熱心に逐行している支部に対しては報償の意味で交付金を増額されたいとの希望があつた。

◎第 10 回理事会(昭.27.3.10)出席者: 大西会長, 稲浦, 立花両副会長, 富樫, 西松, 米元, 樺島, 丸安各理事

協議事項: (1) 朝日科学奨励金候補者推薦については各理事考慮のこと, (2) 4.12 日本工学会大会に会長及び両副会長出席のこと, (3) 関東地区常議員の改選については三浦前会長に依頼すること, (4) 論文集は各常議員の意見を徴した結果, 27 年度から正員全部に無料頒布し, 准, 学生員には実費で希望者に配付することに決定, (5) Mr. Erik Floor 4 月初旬来日について平山復二郎氏から連絡があつたが具体的講演を依頼すること, (6) 総会に伴う懇親会, 年

次講演会及び見学会について (a) 総会後の講演会に名士の一般講演を依頼し人選を会長に一任する, (b) 各職場別講演割当を各理事で調整のこと, (c) 講演会場の申込は丸安理事担当, (d) 懇親会費は 350 円程度とする, (e) 五十里ダム及び日光を見学すること, (会費 1500 円程度), (7) 名誉員候補者は次回までに各理事で考慮すること, (8) 27 年度事業計画及び予算案は原案を承認しこれを常議員会にはかること, (9) 常議員会を 3.29 に開催のこと, (10) 入退会承認

◎各種委員会

1. 土木工学叢書委員会(昭.27.3.4)出席者: 米元, 岡本, 皇埜, 最上, 国分の各委員及び技報堂宮崎君, 協議事項: 佐藤委員長病欠欠席のため米元委員代理で議事進行, 中川書記長から経過説明, 近々横道英雄氏著“鉄筋コンクリート橋”が発刊されるので本書の内容見本, 予約頒価等を協議 5 月初旬に完成を目途とする。次回配本は下水道学(後編)を 8 月一杯とし, 岡本舜三氏応用力学は明年 3 月, 引続いて平井敦氏鋼橋(II)を発刊するよう出版社と打合せた。

2. 用語委員会(昭.27.3.7 及び 26~27 日)出席者: 福田委員長外各委員, 協議事項: 各部門の原案に対する訂正追加用語について審議

3. 海外連絡委員会(昭.27.3.17)出席者: 田中委員長, 千秋, 本間, 平井の各委員, 協議事項: 国際会議出席者について種々協議した。

4. 製図規格委員会(昭.27.3.18)出席者: 福田委員長, 河野, 深谷, 佐島, 高畑, 水越, 八十島, 丸安, 樺島(代)の各委員, 田村, 榎本両幹事, 経過: (1) 福田委員長より一般部門の原案の説明に先立ち規格を基準とし, 他部門との関連上一般を総則に改めたいと提案があり, 委員了承後総則の説明に入る, (2) 水越委員から発電水力部門の原案の説明, (3) 河野, 深谷両委員からコンクリート構造物部門の原案説明, (4) 以上の(2)(3)に対し実用上広く使われる規定, 鉄筋の配筋, 継目, フック等の表示法その他専門部門に特に必要な規定を総則以外の各部門で次回までに原案を作成するように委員長から希望があつ

た、(5)総則は近日中に委員長が作成して各委員に配布する、(6)工業技術庁標準部長からの照会に対する回答は委員長に一任すること。

5. 編集委員会(昭.27.3.19)出席者:本間,米元正副委員長外各委員,協議事項:(1)会誌及び論文集の進捗状態報告に次いで寄稿論文の審査報告並びに新規原稿の審査委員の決定,(2)第37巻第5号登載論文を下のとおり決定。

上田健太郎:国有鉄道信濃川小千谷発電所の水槽について,北郷繁:測角の1つの誤差について,(4号より繰越),小林 勇・後藤尚男:電車荷重による衝撃応力に関する実験的研究,米沢 博:鋼道路橋の鉄筋コンクリート片持版の剪断力に対する荷重分布有効巾に関する研究,村山朝郎・片山重夫・天野光三:土の粘弾性について,柴田元良:弾性支承上にある有限長梁が集中荷重を受ける場合の解法とその機械的計算法の提案,浅村 廉:有料道路について,伊丹康夫:ブルドーザーキャリオールの施工歩掛について,松尾新一郎・三瀬 真:珪酸ナトリウム結晶の作り方について。

(3)第3号の討議依頼先の決定,(4)抄訳について,(5)寄稿依頼その他編集事務打合せ。

6. 第3回法面築堤崩壊防止研究委員会(昭.27.3.20)出席者:最上,星基,福岡,原口,宮崎,多田,仁杉,市嶋の各委員,八十島,三木,岩塚,門田,渡辺,伊崎,池田,大場の各幹事。協議事項:築堤の施工指針の外に保守条項を織り込み,土質工学的困難な問題を検討し,成案を得るために国鉄から凍上防止,落石止等の資料を提供し,27年度には特殊の例について研究すること,又雨量と災害との関係も研究すること等協議。

7. 第3回ハンドブック委員会(昭.27.3.28)出席者:福田委員長,岡本,小西,丸安,松村(代),国分,成瀬,田中,平井,友永,江藤(代),榎,清水(代),黒田(代),山本(代),木村,市浦,岩井,加納(代),藤井(代),高畑各委員,嶋,高橋各幹事,協議事項:(1)ページ割割当の決定,委員長から幹事会で割当てたページ数案の説明あり各委員の申出によつて多少変更した。(2)目次案を検討の上多少変更したが未だ目次細目の決定していない主査には早急に細目を出して頂きたい。(3)細目と共に執筆委員を未だ決めてない編は至急決定して通知願ひ,学会から委嘱状を出すこと,(4)執筆要項に水理関係記号

を加えること,(5)原稿用紙の決定,(6)その他

支部だより

◎東北支部 機械化施工法研究会(昭.27.3.14,15)

出席者:照井支部長以下119名,東北地方建設局と共催で次のようなプログラムで非常に盛会且つ有意義に終了した。まず横山地建企画課長の開会の辞に次いで伊藤地建局長の挨拶があり,地建機械課で管内機械化施工の工費面における実態報告及びこれが検討を行い,次に機械化施工の単価と消却費を横山部長司会の下に討議し,その後次のような研究発表があつた。

長町駅改良工事機械化土工	國 仙 台 工 事 區	梅津 清七
石淵における石塊畳築作業	地 建 機 械 工 事 務 所	吉井 彌七
機械化施工の一例	地 建 工 合 鳴 工 事 務 所	真野 茂夫
国産建設機械	地 建 仙 台 機 械 整 備 事 務 所	三浦 忠彦
ベルトコンベヤーによる土工	地 建 名 取 工 事 務 所	面川 正治
鹿島式オートフィーダー	鹿 島 建 設 技 術 研 究 所	島津 武
タワーエクスキャベーター工事実績	地 建 湯 澤 工 事 務 所	高橋彌治兵衛

追川ディーゼル機関車による土砂運搬歩掛

	宮 城 県 追 川 工 事 務 所	小寺 技師
--	---	-------

ドラグラインによる杭打作業	地 建 名 取 工 事 務 所	熱海 武
---------------	--------------------------------------	------

機械施工の中間報告	地 建 仙 台 機 械 工 事 務 所	峯岸 慧
-----------	--	------

山本式桁架替	仙 台 機 械 工 事 務 所	伊藤善次郎
--------	--------------------------------------	-------

講演:コンクリート・グラビティダム	建 設 技 術 研 究 所	空閑 徳平
-------------------	---------------------------------	-------

映画:山本式桁架替について

終つて照井支部長の挨拶を以つて研究会を閉じた。

◎中部支部 1. 見学会(昭.27.3.21,23)2回に分けて関西電力丸山発電所建設工事の見学会を行つたが,第1回は学生員を対象とし,名古屋工大及び岐阜県立大より35名の参加を得て行われ快晴に恵まれ盛会であつた。第2回は一般より120名の申込がありバスの都合で60人としたが土砂降りのため出席率悪く,48名の参加のみであつたが午後より晴れたため現場見学には差支えなく有意義な1日を過ぎた。

2. 役員会(昭.27.3.18)立神支部長,奥田幹事長外各幹事出席。協議事項:(1)支部長の改選については立神支部長より中電副社長石川栄次郎氏を推薦し満場一致で同氏を昭和27年度中部支部長に推すこととなつた。(2)福井県の関西支部への変更希望については実情に添ふことが一番良いとの結論に達し支部

長より本部に申請することとなつた。(3)昭和27年度支部行事の予定案を審議したが次期幹事で遂行してもらふことで了承した。

3. 役員会及び見学会(昭.27.3.29,30)静岡県大仁ホテルにおいて開催,立神支部長,奥田幹事長外各幹

事出席,奥田幹事長の開会挨拶及び立神支部長の挨拶に引続き26年度行事報告及び会計報告が行われた。翌30日には大仁より狩野川放水路流入口附近の工事現場を見学した。

昭和27年3月分入退会報告(3.1~3.31現在)

1. 入会 85名(特別員(1級)1, (2級)1, (3級)6, 正員30, 准員23, 学生員24)
2. 退会 56名(特別員(3級)1, 正員21, 准員25, 学生員9)
3. 転格 11名(特別員1級より2級へ1, 2級より3級へ1, 准員より正員へ6, 学生員より准員へ3)
4. 死亡 3名(正員 小倉兼友, 近坂百一, 三池貞一郎)

会 員 現 在 数(27.3.31現在)

名誉員	替助員	特別員	正員	准員	学生員	合計	増加数
16名	13名	230名	4,523名	4,931名	1,097名	10,810名	29名

昭和27年4月10日印刷 土木学会誌 定価 80円

昭和27年4月15日発行 第37巻第4号

編集兼発行者 東京都千代田区大手町2丁目4番地 中川一美
 印刷者 東京都港区赤坂溜池5番地 大沼正吉
 印刷所 東京都港区赤坂溜池5番地 株式会社技報堂

東京都中央局区内千代田区大手町2丁目4番地 電話和田倉(20)3945番

発行所 社団法人土木学会 振替東京16828番